

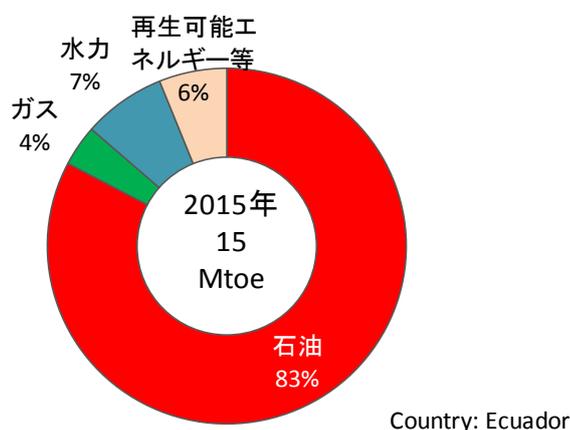
3-9 トリニダード・トバゴ

1. サマリー

1. エネルギー事情

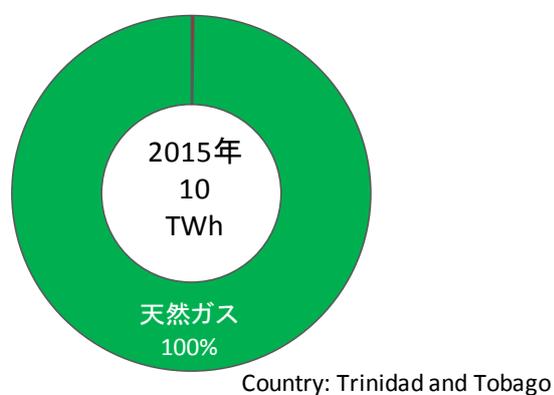
- (1) 一次エネルギー総供給量 (2015年) : 19Mtoe (日本の0.05倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 14.26toe/人 (日本の4.21倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 194%
- (4) エネルギー起源CO₂排出量 (2015年) : 22.8百万CO₂換算 ton (日本の2.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源CO₂排出量(2015年):16.80CO₂換算 ton/人(日本の186.7%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2016年末) : 原油6.9年、天然ガス8.7年

一次エネルギー供給構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- トリニダード・トバゴ (T&T) におけるエネルギー政策は、エネルギー省 (Ministry of Energy and Energy Industries: MEEI) が担当している。2017年11月末現在のエネルギー大臣は Franklin Khan 氏である。

(2) 基本政策

- T&T のエネルギー政策は以下の通りである。
 - 状況の変化に対応でき、持続可能な発展を促進できるような効率的な管理体制、法的規制および財政的な枠組みを構築する。
 - 国内のエネルギー供給を確保する。
 - 国内原油生産を最大化する。
 - 現有の石油精製能力を有効活用するとともに、更なる能力増強を図る。
 - 石油化学産業など天然ガスを原料とする下流部門の発展、及びガスをエネルギー源とする他産業の発展を通じて、天然ガスの効率的かつ最適な現金化を図る。
 - 顧客に焦点を当てた効率的な小売市場の開拓を行う。
 - CNG など、クリーンエネルギー・再生可能エネルギーを積極的に導入する。
 - 環境保護・環境保全に取り組む。
 - 国際競争力を持つために、研究開発や国民への啓蒙活動を行う。

(3) 最近の動向

- エネルギー省 (MEEI) によれば、Atlantic LNG (ALNG) の2016年の生産量は、対前年比15.5%減の2,441万m³であった。
- 2016年10月、Rowley 首相による内閣改造で地方開発・自治大臣の Franklin Khan 氏が Nicole Olivierre に代わり新たにエネルギー大臣に就任した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2015年4月、三菱ガス化学と三菱商事は、T&T でメタノールの商業生産に乗り出すと発表した。三菱重工業がプラントを建設する。総事業費は1,000億円超とみられる。同国産の天然ガスを原料に、メタノールやジメチルエーテルを生産する。生産能力は、メタノールが100万ton/年、ジメチルエーテルが2万ton/年。完成は2018年の予定。
- 2016年に日本は、T&T からLNGを約11.4万ton輸入し、その額は約53億円。対前年比では、数量で約190%、金額で約126%であった。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Trinidad and Tobago

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		19 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		14.26 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.85 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		194 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		22.8 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		16.80 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	8 %
	天然ガス	92 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-94 %
(9) 石油の輸入依存度		-226 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 天然ガスの輸出先 (2016年)	第1位	チリ (22.4%)
	第2位	アルゼンチン (9.8%)
	第3位	ブラジル (2.1%)

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11)BP Statistical Review of World Energy June 2017